



道路照明灯の消灯実験を継続

～ 維持管理コストの縮減を目指して ～

金沢河川国道事務所では維持管理コスト縮減を目指し3月30日から10月末までの予定で道路照明（橋梁照明）の消灯実験を行っています。現在までのところ事故発生もなくまた、アンケートの意見でも概ね問題がないとの意見が多くこれらを踏まえて引き続き維持管理コスト縮減の可能性及び冬期消灯における影響を検証するため道路照明灯の消灯実験を継続します。

■消灯実験の内容

（1）消灯継続箇所

①田中高架橋 ②西念高架橋 ③金石高架橋 ④松島高架橋

（2）実験期間

平成21年11月1日（日）～平成22年3月31日（水）まで

※実験の結果が良好な場合は、消灯を継続する予定です。

（3）安全対策

これまでのアンケートから消灯による安全対策として、視線誘導標等を密に設置します。

（4）コスト縮減効果

11月1日から3月31日までの期間で4橋で約20万円の電気料縮減を予定。（年間では約48万円縮減予定）

（5）今後の取り組み

これまでの消灯実験における結果を踏まえ4橋における通年の消灯及び消灯する橋梁を順次拡大を検討。

■消灯実験に関するご意見・ご感想は、金沢河川国道事務所のホームページ内に『消灯実験ご意見箱』を設置し引き続き受付ます。

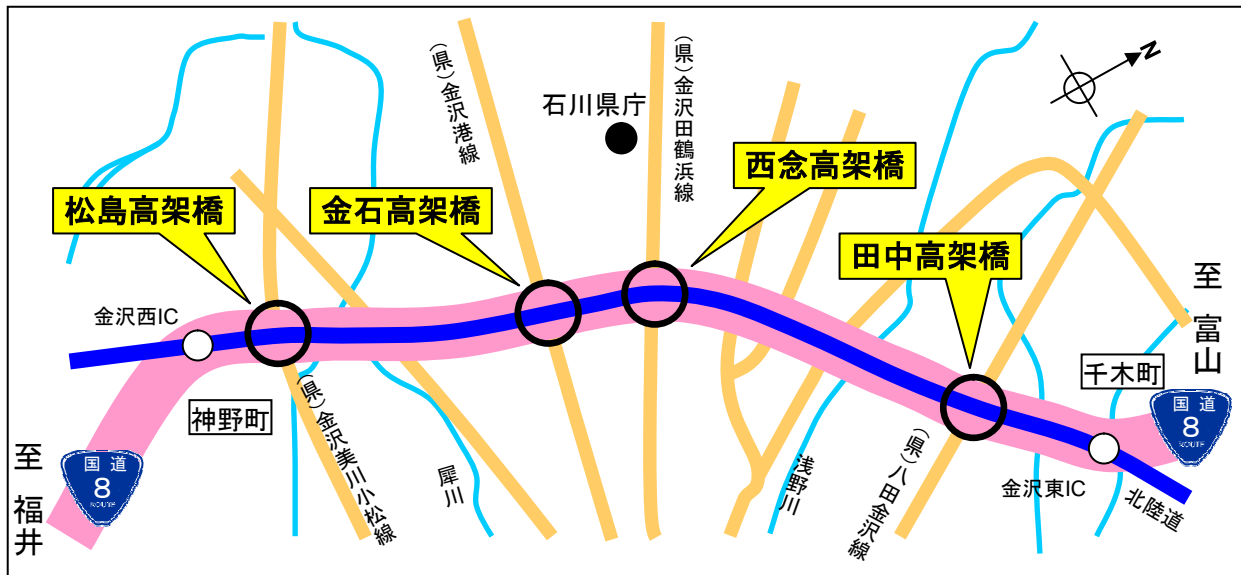
【 問 い 合 わ せ 先 】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

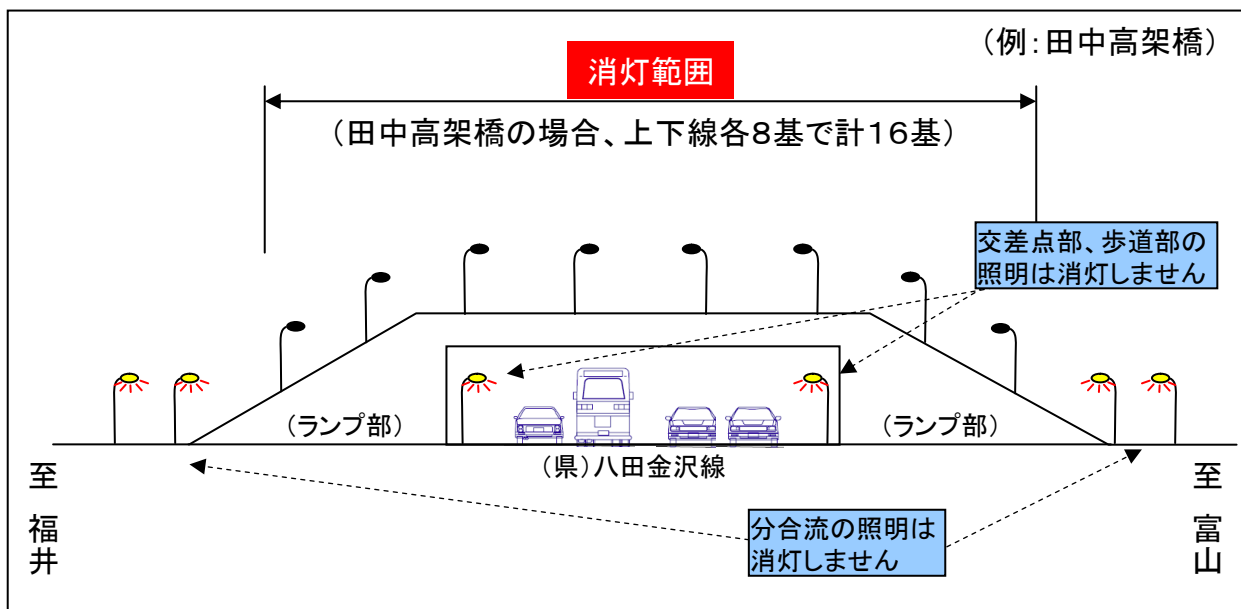
道路管理第二課長 盛田 義昭

T e l 076-264-9918 (ダイヤル)

位置図



消灯範囲イメージ図



現況写真



1. 全体消灯数 …… 38基

①	田中高架橋	…	上り	8基	下り	8基	計	16基
②	西念高架橋	…	上り	4基	下り	4基	計	8基
③	金石高架橋	…	上り	1基	下り	1基	計	2基
④	松島高架橋	…	上り	9基	下り	3基	計	12基

2. これまで寄せられたアンケートの意見(主な意見)

- ・悪天候時は安全のために点灯してもよいのではないか。
- ・壁側に反射板灯があると良い。
- ・ナトリウム灯はやめて欲しい。メタルハライドランプ・LEDや無電極照明を検討しては。
- ・トンネル内照明も明るすぎるのももう少し暗くしてはどうか。
- ・周辺店舗の閉店後の深夜は少し暗く感じた。
- ・合流部が若干暗く感じたがそれ以外は問題はない。
- ・交差点、合流分流箇所のみでよいのではないか。
- ・車両の通行に支障がないと感じたものの、緊急時に人の待避所が必要と思う。

3. 今後について

これまでの消灯実験における結果を踏まえ消灯継続及び拡大できる橋梁の整理を検討していく。